



## 品質証明書

商品名	アクリアマット
品種	ACM 14 155 × 455 × 1370
JISの種類	JIS A 9521 建築用断熱材
JISによる呼び方	GWHG14-38 F☆☆☆☆ λ38 R4.1 155 × 455 × 1370 L VC

品質項目	単位	規格値	区分あるいは記号
密度 (呼び厚さによる)	kg/m <sup>3</sup>	14 +2 -2	-
厚さ	mm	155 以上	-
幅	mm	455 +20 -0	-
長さ	mm	1,370 以上	-
ホルムアルデヒド 放散速度	μg/(m <sup>2</sup> ・h)	5 以下	F☆☆☆☆
熱伝導率 (平均温度23℃)	W/m・K	0.038 以下	λ38
熱抵抗値	m <sup>2</sup> ・K/W	4.1 以上	R4.1

備 考

## 品質証明書

商品名	アクリアネクスト
品種	ACN 14 85 × 430 × 2880
JISの種類	JIS A 9521 建築用断熱材
JISによる呼び方	GWHG14-38 F☆☆☆☆ λ38 R2.2 85 × 430 × 2880 L VC

品質項目	単位	規格値	区分あるいは記号
密度 (呼び厚さによる)	kg/m <sup>3</sup>	14 +2 -2	-
厚さ	mm	85 以上	-
幅	mm	430 +20 -0	-
長さ	mm	2,880 以上	-
ホルムアルデヒド 放散速度	μg/(m <sup>2</sup> ·h)	5 以下	F☆☆☆☆
熱伝導率 (平均温度23℃)	W/m·K	0.038 以下	λ38
熱抵抗値	m <sup>2</sup> ·K/W	2.2 以上	R2.2

備 考

## 品質証明書

商品名	アクリアUボードNT
品種	ACUNT 24 80 × 805 × 1820
JISの種類	JIS A 9521 建築用断熱材
JISによる呼び方	GWHG24-36 F☆☆☆☆ λ 36 R2.2 80 × 805 × 1820 H NN

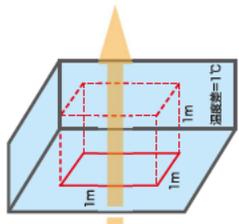
品質項目	単位	規格値	区分あるいは記号
密度 (呼び厚さによる)	kg/m <sup>3</sup>	24 + 2 - 2	-
厚さ	mm	80 + 3 - 0	-
幅	mm	805 + 8 - 0	-
長さ	mm	1,820 以上	-
ホルムアルデヒド 放散速度	μg/(m <sup>2</sup> ·h)	5 以下	F☆☆☆☆
熱伝導率 (平均温度23℃)	W/m·K	0.036 以下	λ 36
熱抵抗値	m <sup>2</sup> ·K/W	2.2 以上	R2.2

備 考

## 熱伝導率/熱抵抗

### 熱伝導率 (λ)

建築材料や断熱材の熱の伝わりやすさを表す物性値。材料の両側における表面温度差が1 (°C) で厚さが1 (m) の時、単位面積当たりどのぐらいの熱量 (W) が通過するかを表わしています。通常λ (W/(m・K)) で示されます。熱伝導率は厚みに関係なく一定の数値となり、数値が小さいほど熱が伝わりにくい材料といえます。



### 熱抵抗 (R) JIS A 9521: に基づいた計算方法による

●熱抵抗値 (R) は、次の式によって求め、四捨五入によって小数点以下1桁に丸めた値とする。

$$R = \frac{d}{\lambda}$$

R: 熱抵抗 (m<sup>2</sup>・K/W)  
d: 断熱材厚さ (m)  
λ: 熱伝導率 [W/(m・K)]

### JIS A 9521: に規定された表示方法により求めた、スタイロフォームの熱抵抗 (R)

厚さ (mm)	スタイロフォームΔB λ=0.036	スタイロフォームΔB2 λ=0.034	スタイロフォームΔE λ=0.028	スタイロフォームΔEX λ=0.024	スタイロフォームΔF λ=0.022	スタイロフォームΔG λ=0.028
20	0.6	0.6	0.7	0.8	0.9	0.7
25	0.7	0.7	0.9	1.0	1.1	0.9
30	0.8	0.9	1.1	1.3	1.4	1.1
35	1.0	1.0	1.3	1.5	1.6	1.3
40	1.1	1.2	1.4	1.7	1.8	1.4
45	1.3	1.3	1.6	1.9	2.0	1.6
50	1.4	1.5	1.8	2.1	2.3	1.8
55	1.5	1.6	2.0	2.3	2.5	2.0
60	1.7	1.8	2.1	2.5	2.7	2.1
65	1.8	1.9	2.3	2.7	3.0	2.3
70	1.9	2.1	2.5	2.9	3.2	2.5
75	2.1	2.2	2.7	3.1	3.4	2.7
80	2.2	2.4	2.9	3.3	3.6	2.9
85	2.4	2.5	3.0	3.5	3.9	3.0
90	2.5	2.6	3.2	3.8	4.1	3.2
95	2.6	2.8	3.4	4.0	4.3	3.4
100	2.8	2.9	3.6	4.2	4.5	3.6

\* 製品として厚みがないものを計算してあります。\* これらの数値をもとに、その他、材料の必要厚み換算は行わないでください。  
● [建築物理学方法] に対応した、スタイロフォームの必要厚みにつきましては、後ページに記載する「住宅の省エネルギー基準」に基づき必要厚み一覧表について「表」をご利用ください。

## 冷蔵倉庫分野 物性及び推奨厚み一覧

### ● スタイロフォームの物性

製品名	スタイロフォームΔEK-II	スタイロフォームΔEX	試験法
JIS規格・標準製品記号	JIS A 9511:「発泡プラスチック保温材」・押出法ポリスチレンフォーム保温版 XPS30A (スキン層なし)	XPS30C (スキン層なし)	
密度	kg/m <sup>3</sup> 25以上	25以上	
熱伝導率	W/(m・K) 0.028以下	0.024以下	
透過係数	m <sup>2</sup> /(m <sup>2</sup> ・s・Pa) 145以下	145以下	
圧縮強さ	N/cm <sup>2</sup> 20以上	25以上	JIS A 9511
曲げ強さ	N/cm <sup>2</sup> 25以上	25以上	
燃焼性	—	3秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ燃焼境界指示線を超えて燃焼しない	
吸水量	g/100cm <sup>2</sup> 0.01以下	0.01以下	
ホルムアルデヒド放散区分	F☆☆☆☆等級	F☆☆☆☆等級	
加熱変形温度	°C 80	80	自社試験法
線膨張係数	cm/cm・°C 7×10 <sup>-5</sup>	7×10 <sup>-5</sup>	ASTM D 696
比熱	KJ/kg・K 1.1	1.1	ASTM C 351
酸素指数	—	26以上	JIS K 7201

\* 酸素指数とは、材料を海綿的に燃焼させるために必要な酸素濃度。26未満は海綿法の取扱いにより指定可燃物となります。

### ● 推奨防熱材厚み

製品名	スタイロフォームΔEK-II			スタイロフォームΔEX		
庫内温度 (°C)	天井	外壁	床	天井	外壁	床
10	100	75	50	100	75	50
5	125	100	75	100	100	75
0	150	125	100	125	100	75
-5	150	125	100	125	125	100
-10	175	150	125	150	125	100
-15	200	175	150	175	150	125
-20	200	175	150	175	150	125
-25	225	200	175	200	175	150
-30	250	225	200	200	175	175

\* 厚さ25mm単位で切り上げ。

製品名	スタイロフォームΔEK-II			スタイロフォームΔEX		
省エネルギー型防熱材の厚さ (mm)	天井	外壁	床	天井	外壁	床
10	125	100	75	100	75	50
5	150	125	75	125	100	75
0	175	150	100	150	125	100
-5	175	150	125	150	125	100
-10	200	175	150	175	150	125
-15	225	200	175	200	175	150
-20	250	225	175	200	200	150
-25	275	225	200	225	200	175
-30	275	250	225	250	225	200

\* 厚さ25mm単位で切り上げ。

【参考資料】 冷蔵倉庫の防熱防湿施工標準 日本冷凍空調学会規格 JSRAE S 0001:2016



# 断熱性能について

## ■ジエスタ2(k4仕様)

枠と戸の仕様	対象型番	開閉形式	ガラスの仕様	ガラス中央部の熱貫流率 [W/(㎡K)]	開口部の熱貫流率 [W/(㎡K)]	性能指標 ※1		
						①	②	
枠：金属製又はその他 戸：金属製フラッシュ構造	【ドア本体：採光なし】 C11型、D11型、D12型、 D91型、S13型、S14型、 M16～18型、M92型、 M93型	片開き、両開き	ドア本体：— (両開き子扉)	—	2.04		○	
		親子	子扉：採光なし	ドア本体：— 子扉：—	—	2.04		○
			子扉：採光あり	ドア本体：— 子扉：組み込みガラス	—	2.64		○
			子扉：採光なし ポスト付	ドア本体：— 子扉：—	—	2.07		○
		片袖、両袖	ドア本体：— 袖：LIXIL オプションガラス (型板ガラス・乳白色ガラス)	—	2.46		○	
			ドア本体：— 袖：Low-E 複層 (空気層 8mm 以上) 又は右記熱貫流率のガラス	2.3 以下	2.52		○	
			ドア本体：— 袖：複層 (空気層 6mm 以上) 又は右記熱貫流率のガラス	3.3 以下	2.81		○	
		【ドア本体：採光あり】 C12型、C13型、C72型、 C73型、C92型、C93型、 D32～34型、D41～45型、 D52～54型、D61～65型、 G11～13型、P11～16型、 P19型、P20型、S11型、 S12型、S17型、S18型、 M12型、M13型、M15型、 M19型、M22型、M26型、 M28型、M31型、M91型	片開き、両開き	ドア本体：組み込みガラス (両開き子扉)	—	2.64		○
			親子	子扉：採光なし	ドア本体：組み込みガラス 子扉：—	—	2.64	
	子扉：採光あり			ドア本体：組み込みガラス 子扉：組み込みガラス	—	2.64		○
	子扉：採光なし ポスト付			ドア本体：組み込みガラス 子扉：—	—	2.67		○
	片袖、両袖		ドア本体：— 袖：LIXIL オプションガラス (型板ガラス・乳白色ガラス)	—	2.85		○	
			ドア本体：— 袖：Low-E 複層 (空気層 8mm 以上) 又は右記熱貫流率のガラス	2.3 以下	2.91		○	
			ドア本体：— 袖：複層 (空気層 6mm 以上) 又は右記熱貫流率のガラス	3.3 以下	3.20		○	
	【ドア本体：採光あり】 G14型、G15型、M11型、 M14型、M20型、M21型、 M24型、M27型、P17型、 P18型、P21型、S19型、 S20型		片開き、両開き	ドア本体：組み込みガラス (両開き子扉)	—	2.64		○
			親子	子扉：採光なし	ドア本体：組み込みガラス 子扉：—	—	2.64	
		子扉：採光あり		ドア本体：組み込みガラス 子扉：組み込みガラス	—	2.64		○
		子扉：採光なし ポスト付		ドア本体：組み込みガラス 子扉：—	—	2.67		○
		片袖、両袖	ドア本体：— 袖：LIXIL オプションガラス (型板ガラス・乳白色ガラス)	—	2.85		○	
			ドア本体：— 袖：Low-E 複層 (空気層 8mm 以上) 又は右記熱貫流率のガラス	2.3 以下	2.91		○	
			ドア本体：— 袖：複層 (空気層 6mm 以上) 又は右記熱貫流率のガラス	3.3 以下	3.20		○	
		【ドア本体：採光あり (採風)】 G81型、G82型、 M81～84型、P81型、 P82型	片開き	ドア本体：組み込みガラス	—	2.57		○
			親子	子扉：採光なし	ドア本体：組み込みガラス 子扉：—	—	2.57	
	子扉：採光あり			ドア本体：組み込みガラス 子扉：組み込みガラス	—	2.64		○
子扉：採光なし ポスト付	ドア本体：組み込みガラス 子扉：—			—	2.60		○	
片袖、両袖	ドア本体：— 袖：LIXIL オプションガラス (型板ガラス・乳白色ガラス)		—	2.85		○		
	ドア本体：— 袖：Low-E 複層 (空気層 8mm 以上) 又は右記熱貫流率のガラス		2.3 以下	2.91		○		
	ドア本体：— 袖：複層 (空気層 6mm 以上) 又は右記熱貫流率のガラス		3.3 以下	3.20		○		
【ドア本体：採光あり (ステンドグラス)】 C14型、C74型	片開き、両開き		ドア本体：組み込みガラス (両開き子扉)	—	2.74		○	
	親子		子扉：採光なし	ドア本体：組み込みガラス 子扉：—	—	2.74		○
		子扉：採光あり (ステンドグラス)	ドア本体：組み込みガラス 子扉：組み込みガラス	—	2.74		○	
		子扉：採光なし ポスト付	ドア本体：組み込みガラス 子扉：—	—	2.99		○	
		子扉：採光あり ポスト付	ドア本体：組み込みガラス 子扉：組み込みガラス	—	2.99		○	
	片袖、両袖	ドア本体：— 袖：LIXIL オプションガラス (型板ガラス・乳白色ガラス)	—	2.91		○		
		ドア本体：— 袖：Low-E 複層 (空気層 8mm 以上) 又は右記熱貫流率のガラス	2.3 以下	2.97		○		
		ドア本体：— 袖：複層 (空気層 6mm 以上) 又は右記熱貫流率のガラス	3.3 以下	3.26		○		

※1 各熱貫流率が、以下①・②のいずれかに準拠しているかを掲載しています。

①「建具とガラスの組み合わせ」による熱貫流率

②試験、計算による熱貫流率 ※2

※2 試験は「JIS A 4710」、計算は「JIS A 2102」または国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「熱貫流率及び線熱貫流率 ドアの簡易的評価」に従っており、「JIS Q 17050-1」に基づき自己適合宣言しています。自己適合宣言書が必要な場合は、当社オフィシャルサイト内のビジネス向けページでご確認ください。

# 主要装備一覧

●:標準装備、○:選択品、△:別途有償品、-:設定なし、□:ジエスタ2とジエスタ2防火戸で異なる項目

性能・特長項目			ジエスタ2	ジエスタ2 防火戸	備考
基本寸法	W寸法	片開き	924mm	924mm	
		親子・片袖・両袖	1,240mm	1,240mm	※片袖・両袖はジエスタ2のみ
		両開き	1,692mm	-	
		親子入隅	1,138mm	1,138mm	
	H寸法		2,330mm	2,330mm	
断熱仕様	k2仕様(枠:サマルブレイク構造、ガラス:高断熱複層ガラス)		●	●	
	k4仕様(枠:非断熱枠、ガラス:複層ガラス)		●	●*	※ガラスは高断熱複層ガラスを使用
防犯性	FamiLock		○	○	
	エントリーシステム	カザスプラス	○	○	
		タッチキー	○	○	
		システムキー	○	○	
	締め忘れ対策 自動施錠		○	○	※FamiLock、エントリーシステムの場合、ON/OFF切替可能(出荷時はOFF)
	こじ破り対策 鎌付デッドボルト		●(3箇所)	●(3箇所)	
	ピッキング対策 2ロック	DNキー	●(シャッター付)	●(シャッター付)	※S型ハンドル(FamiLock、エントリーシステム用)はシャッターなし
		Wキー	○(シャッター付)	○(シャッター付)	※FamiLock、S型ハンドルには設定なし
	ガラス破り対策 セキュリティサムターン		手動:●(1ヶ所) エントリー:●(2ヶ所)	●(2ヶ所)	
	破壊されにくい 安全合わせガラス		○	-	※袖ガラスのみ
	無締まりを防ぐ 施錠表示		●	●	※FamiLock、エントリーシステムの場合、サムターンを外した状態で施錠表示なし
	工事用キー施工後無効 コンストラクションキーシステム		●	●	
	ガラス破り対策 室内側ねじ固定額縁		●	●	
子扉の不正解錠対策 ロック機構付のフランス落とし		●	●		
気配り機能	熱反りを軽減し、熱の侵入を抑制 遮熱銅板		●	●	
	風を採り込める 採風ドア		○(k2仕様・k4仕様)	○(k4仕様のみ)	
	キズを自然に修復する キエテクノコート仕様		○	○	※ハンドルのみ(FamiLock用は除く)
	来訪者確認 ドアガード		●(樹脂キャップ付)	●(樹脂キャップ付)	
	施錠しやすい	すり鉢状のシリンダー	●	●	※S型ハンドル用シリンダー(FamiLock、エントリーシステム用)は除く
		蓄光樹脂付シリンダー	●	●	※S型ハンドル用シリンダー(FamiLock、エントリーシステム用)は除く
		リバーシブルキー	●	●	
	指をはさんでも ケガをしにくい構造		●	●	
	ひとまわりゆとりのある 有効開口		●806mm	●806mm	
	融資基準に適合する段差20mm以下に納められる 下枠段差		●20mm	●20mm	
	スリップしにくい ゴム製くつすり		●	●	
	ドアクローザ	スピード調整	●	●	
		ストップ角度調整	○	○	※フリーストップ仕様のみ対応になります
	勝手口と同一キー ホームマスターキー		○	○	※DNキーのみの対応
	納まりに合わせて 選べる枠仕様	フラット枠	●	●	
		立ち上がり枠	○	○	
		アングル付枠	●	●	
		アングル無枠	○	○	
	ポスト付子扉		○	-	
	工事時の管理が簡単 コンストラクションマスター		特注	特注	
コーディネート	エントランスの一体感を生む クリエカラー		○	○	※一部デザインのみ設定
	門扉との統一デザイン		○	○	※一部デザインのみ設定
調整機能	ドアクローザスピード調整/ストップ角度調整		●	●	
	建付調整 丁番		●	●	
	子扉の前後方向調整(フランス落としつばの調整)		●	●	
	ストライク受けの調整		●	●	
別途有償品	鋳物オーナメント/鋳物アクセサリ/後付リースフック		△	△	※一部デザインのみ取り付け可
	下枠巾木		△	△	
	下枠巾木用キックプレート		△	△	
	下枠ステンレスカバー(k4仕様用)		△	△	※k2仕様は標準装備
	アルミ室内額縁		△	△	※アングル付枠には取り付け不可
	室内額縁固定用アングル		△	△	※アングル付枠には取り付け不可
	レターバスケット		△*	-	※ポスト付子扉K31P、K32P、K33P、K41Pのみ取り付け可
	丁番スベサー		△	△	
	高さ調整スベサー		△	△	
	上・たて枠用アンカー		△	△	
	後付ビード		△	-*	※ガラス別途手配品の設定なし
	玄関ドア上LED照明		△	△	※G11型は取り付け不可
	交換用部品	丁番		△(アルミ製)	△(ステンレス製)
ドアガード		△	△		

## 本体色(商品コード□□/□部の記号)について

・枠と同色をお選びください。

下枠巾木			
色名称	シャイングレー	ナチュラルシルバー	ブラック
□□	AK	AD	AT
上・たて枠用アンカー			
色名称	シャイングレー	ナチュラルシルバー	ブラック
□	K	D	T

## 別途有償品 ! 10 上・たて枠用アンカー、丁番スペーサー、高さ調整スペーサー

部材名称	商品コード	価格	備考
下枠巾木	□□-0001-DSRD	¥4,400	・k2・k3仕様立ち上がり枠用 ・見付け100mm
上・たて枠用アンカー	□-0001-DSML	¥7,000	・15個入(梱包発注)
丁番スペーサー	Z-0001-DSMJ	¥1,100	・5組入(梱包発注) ※2枚1組仕様 ※丁番1箇所あたり2枚取り付けられています
高さ調整スペーサー	Z-0001-DSMM	¥800	・20個入(梱包発注) ※この部品は丁番1枚あたりに2枚同梱されています

※外部物置ドア防火戸は個別認定品のため、掲載外の有償品の取り付けは認められません。

## 仕様一覧

使用対象	・1階土間納まり(このほかに使用する場合は防水処理を行ってください) ・木造戸建住宅(集合住宅のエントランスや店舗用としてはご使用いただけません)		
材質	●枠	主部材	k2・k3仕様:アルミ形材(サーマルブレイク構造) k4仕様:アルミ形材
		下枠	k2・k3仕様:アルミ形材(ステンレスカバー付)+合成ゴム k4仕様:アルミ形材+合成ゴム
	●本体	主部材	ポリエステル鋼板
		内部	k2仕様:断熱パネル(EPS) k3・k4仕様:ペーパーハニカム
	●ハンドルセット	レバーハンド	把手(主部材) アルミ 台座(主部材) ステンレス
		握り玉/ケースハンドル	ステンレス
		サムターン	主部材 樹脂
	●シリンダーセット	シリンダー	樹脂
		シリンダーカバー	亜鉛ダイカスト
		キー	樹脂
キー		洋白	
●ドアクローザ	主部材	アルミ	
●丁番		ステンレス	
●下枠巾木		アルミ形材	
●上・たて枠用アンカー		スチール	
調整機能	●丁番	3方向建付調整機能付 上方向:0~3mm、吊元方向:+1.5mmと3mm、見込み方向:±1.5mm	
	●ドアクローザ	2ストップ仕様:ストップ角度 約80°/約130°、3区間速度調整可能、ラッチングアクション機能付 フリーストップ仕様:ストップ角度自由設定(0°~180°)、3区間速度調整可能、ラッチングアクション機能付	
	●ストライク受け	枠	室外側:5.0mm、室内側:1.5mm、上下:±2.0mm
基本性能 ( )内は旧等級	●断熱性	※下記参照	
	●耐風圧性	S-2 (120)等級	
	●水密性	W-2 (15)等級 天候・立地条件によっては、商品に風雨が当たると、枠と本体のすきま、ガラスやパネルの観音まわりから室内側の土間に水が入ってくるおそれがあります。	
	●遮音性	-	
出荷形態	●本体	完成品	
	●枠	ノックダウン	

ドアまわり商品

外部物置ドア

壁付け  
防風ポストぐち

## 断熱性能について

### 開口部の熱貫流率

以下の表に掲載している熱貫流率は、いずれも省エネルギー基準の計算に使用できます。

※風除室使用時の熱貫流率は、当社オフィシャルサイト内のビジネス向けページでご確認ください。

#### ■外部物置ドア

●1.90 以下

●2.91 以下

枠と戸の仕様	対象型番	開閉形式	ガラスの仕様	開口部の熱貫流率 [W/(㎡ K)]	性能根拠 ※1	
					①	②
枠: 金属製熱遮断構造 戸: 金属製断熱フラッシュ構造	外部物置ドア k2 仕様 11 型	片開き	ドア本体: -	1.74		○
枠: 金属製熱遮断構造 戸: 金属製ハニカムフラッシュ構造	外部物置ドア k3 仕様 11 型	片開き	ドア本体: -	2.66		○
枠: 金属製又はその他 戸: 金属製ハニカムフラッシュ構造	外部物置ドア k4 仕様 11 型	片開き	ドア本体: -	2.80		○
枠: 金属製熱遮断構造 戸: 金属製断熱フラッシュ構造	外部物置ドア防火戸 k2 仕様 11 型	片開き	ドア本体: -	1.74		○
枠: 金属製熱遮断構造 戸: 金属製ハニカムフラッシュ構造	外部物置ドア防火戸 k3 仕様 11 型	片開き	ドア本体: -	2.66		○
枠: 金属製又はその他 戸: 金属製ハニカムフラッシュ構造	外部物置ドア防火戸 k4 仕様 11 型	片開き	ドア本体: -	2.80		○

※1 各熱貫流率が、以下①、②のいずれに準拠しているかを掲載しています。

①「建具とガラスの組み合わせ」による熱貫流率

②試験、計算による熱貫流率 ※2

※2 試験は「JIS A 4710」、計算は「JIS A 2102」または国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「熱貫流率及び線熱貫流率 ドアの簡易的評価」に従っており、「JIS Q 17050-1」に基づき自己適合宣言しています。自己適合宣言書が必要な場合は、当社オフィシャルサイト内のビジネス向けページでご確認ください。

# 外部物置ドア / 外部物置ドア防火戸

11型:レバーハンドル仕様



[掲載写真価格の仕様] ドアクローザなし/フラット枠/DNキー/レバーハンドルLAA型

本体色：ライトグレー(FV)

枠色：シャイングレー(AK)

おすすめ品番:(GB/BGB)-(A/B/C)-11-L-1400-(R/L)-AK-FV

外部物置ドア	k2仕様	¥129,300
	k3仕様	¥105,300
	k4仕様	¥87,300

外部物置ドア 防火戸	k2仕様	¥201,100
	k3仕様	¥177,100
	k4仕様	¥159,100



内観:ナチュラルホワイト

11型:握り玉仕様



[掲載写真価格の仕様] ドアクローザなし/フラット枠/DNキー/握り玉

本体色：ライトグレー(FV)

枠色：シャイングレー(AK)

おすすめ品番:(GB/BGB)-(A/B/C)-11-N-1400-(R/L)-AK-FV

外部物置ドア	k2仕様	¥136,700
	k3仕様	¥112,700
	k4仕様	¥94,700

外部物置ドア 防火戸	k2仕様	¥208,500
	k3仕様	¥184,500
	k4仕様	¥166,500



内観:ナチュラルホワイト

## カラーバリエーション

※枠と本体の色は自由に組み合わせることができます。  
※室内面材色はナチュラルホワイトです。



本体色：ライトグレー(FV)  
枠色：シャイングレー(AK)



本体色：ミッドグレー(FM)  
枠色：ナチュラルシルバー(AD)

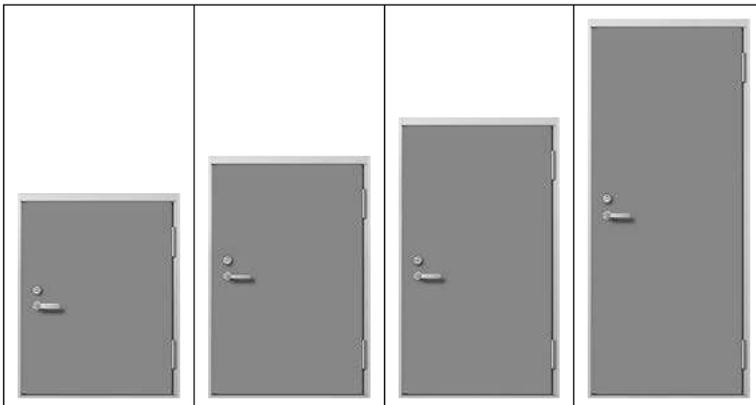


本体色：マットブラック(AA)  
枠色：ブラック(AT)



ブラック枠をお選びいただいたときには、  
ブラック丁番もお選びいただけます。  
+¥1,200

## サイズバリエーション ※全サイズ価格共通です。



W寸法(mm)	640			
H寸法(mm)	1,000	1,200	1,400	1,912



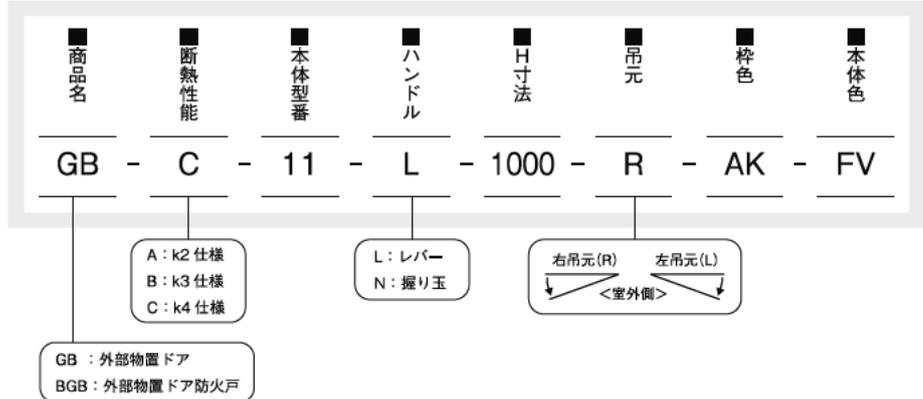
ドアクローザ付仕様にすることもできます。  
+¥11,800

※ドアクローザを取り付けた場合、W・H寸法が  
小さくなるにつれてドアの開閉が重くなります。

## 仕様変更加算額

立ち上がり枠 (k2・k3仕様のみ)	±¥0
下枠巾木付	+¥4,400
レバーハンドルLBB型	LAA型から+¥4,700
Wキー	▲¥2,400

## おすすめ品番の構成について



※床付ドアストッパーは使用しないでください。ドアの表面のへこみ、キズやドアのゆがみが発生するおそれがあります。  
※色が濃いドア本体・ハンドルは、直射日光により高温になることがあります。その際は、直接、手・体を触れないようご注意ください。  
※k2仕様ドア本体を採用した場合でも、天候・立地条件によっては、結露するおそれがあります。

ドアまわり商品

外部物置ドア

壁付け  
防風ポストぐち

## ■開口部の日射熱取得率

・ 建具とガラスの組み合わせによる日射熱取得率

建具の仕様	ガラスの仕様		開口部の日射熱取得率[η]			リクシル適合ガラス
			付属部材 なし	和障子	外付け ブラインド※3	
樹脂と金属の 複合材料製建具	Low-E 複層ガラス	日射取得型※1	0.51	0.30	0.12	Low-E複層ガラス クリア(安全合わせ乳白タイプ除く)
		日射遮蔽型※2	0.32	0.21	0.09	Low-E複層ガラス グリーン Low-E複層ガラス グリーン(高遮熱仕様)※4 Low-E複層ガラス クリア(安全合わせ乳白タイプのみ)※4 Low-E複層ガラス ブロンズ(販売エリア限定商品)※4
金属製建具	遮熱 複層ガラス※4	熱線反射ガラス1種	0.49	0.26	0.11	—
		熱線反射ガラス2種	0.30	0.19	0.08	—
		熱線反射ガラス3種	0.13	0.10	0.05	—
		熱線吸収板ガラス2種	0.42	0.22	0.10	—
	複層ガラス※4	0.63	0.30	0.14	一般複層ガラス	

※1 「日射取得型」とは、JIS R 3106に定めるガラス中央部の日射熱取得率が0.50以上のものをいいます。

※2 「日射遮蔽型」とは、JIS R 3106に定めるガラス中央部の日射熱取得率が0.49以下のものをいいます。

※3 リクシル製品では「外付ブラインドEB」、「目隠し可動ルーバー面格子」が適合します。

※4 防火戸FG-Aは、シャッター付引違い窓のときに使用できるガラスです。

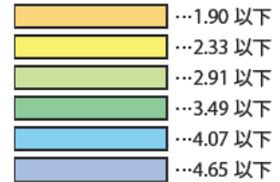
※使用ガラス毎に計算した開口部の日射熱取得率[η]は、当社公式サイト(<https://www.lixil.co.jp/>)内のビジネス向けページをご確認ください。

# 断熱性能について

## ■開口部の熱貫流率

以下①～②の表に掲載している熱貫流率は、いずれも省エネルギー基準の計算に使用できます。

※雨戸付、シャッター付、和障子付、風除室使用時の熱貫流率は、当社オフィシャルサイト (<https://www.lixil.co.jp/>) 内のビジネス向けページでご確認ください。



### ①「建具とガラスの組み合わせ」による熱貫流率

対象製品		建具の仕様	ガラスの仕様	ガラス中空層の仕様		開口部の熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ・K)]		
サーモスA	<ul style="list-style-type: none"> <li>単体引違い窓</li> <li>シャッター付引違い窓</li> <li>雨戸付引違い窓</li> <li>面格子付引違い窓</li> <li>縦すべり出し窓(カムラッチ)</li> <li>横すべり出し窓(カムラッチ)</li> <li>上げ下げ窓FS</li> <li>面格子付上げ下げ窓FS</li> <li>内倒し窓</li> <li>外倒し窓</li> <li>採風勝手口ドアFS</li> </ul>	金属製建具	Low-E複層ガラス	ガス層	10mm以上	2.91		
					10mm未満または不明	3.49		
				空気層	14mm以上	2.91		
					7mm以上14mm未満	3.49		
					7mm未満または不明	4.07		
					空気層	8mm以上	4.07	
	8mm未満または不明	4.65						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高所用横すべり出し窓</li> <li>FIX窓(内押縁タイプ)</li> </ul>	樹脂と金属の複合材料製建具	Low-E複層ガラス	ガス層	14mm以上	2.33		
					14mm未満または不明	2.91		
				空気層	9mm以上	2.91		
					9mm未満または不明	3.49		
					複層ガラス	空気層	11mm以上	3.49
11mm未満または不明						4.07		
防火戸FG-A	<ul style="list-style-type: none"> <li>単体引違い窓</li> <li>シャッター付引違い窓</li> <li>面格子付引違い窓</li> <li>縦すべり出し窓(カムラッチ)</li> <li>横すべり出し窓(カムラッチ)</li> <li>上げ下げ窓FS</li> <li>面格子付上げ下げ窓FS</li> <li>内倒し窓</li> <li>外倒し窓</li> <li>採風勝手口ドアFS</li> </ul>	金属製建具	Low-E複層ガラス	ガス層	10mm以上	2.91		
					10mm未満または不明	3.49		
				空気層	14mm以上	2.91		
					7mm以上14mm未満	3.49		
					7mm未満または不明	4.07		
					複層ガラス	空気層	8mm以上	4.07
	8mm未満または不明	4.65						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高所用横すべり出し窓</li> <li>FIX窓(内押縁タイプ)</li> </ul>	樹脂と金属の複合材料製建具	Low-E複層ガラス	ガス層	14mm以上	2.33		
					14mm未満または不明	2.91		
				空気層	9mm以上	2.91		
							9mm未満または不明	3.49

## シンプル オート

★1  
★2

★1  
★1

★1

★1

★1

★1

★1

★1

★1

★1

設計上の  
標準使用期間 **10年**

12A・13Aのみ

★1 RC-K001Eマルチリモコンに対応します。  
★2 SKB-300シリーズに対応

### リモコン

●無線LAN対応高機能リモコン  
RC-K001Eマルチセット  
0709972  
¥61,930(税抜¥56,300)  
※インターホン付もあります。



浴室リモコン



台所リモコン

●ベーシックリモコン  
RC-J101Eマルチセット  
0708134  
¥41,360(税抜¥37,600)



浴室リモコンRC-J101SE 0708185  
¥20,680(税抜¥18,800)



台所リモコン  
RC-J101ME  
0708184  
¥20,680  
(税抜¥18,800)

●追加リモコン  
※サブリモコンのみでは使用できません。  
サブリモコン RC-8001A(非防水形)  
0702956  
¥14,300(税抜¥13,000)  
ふる自動スイッチ付サブリモコン  
RC-8001AJ(非防水形)  
0702965  
¥16,940(税抜¥15,400)  
浴室サブリモコンRC-8001B(防水形)  
0703171  
¥18,370(税抜¥16,700)

### 〈リモコンコード〉

浴室リモコン・浴室サブリモコン  
リモコンコードS(2心) 8A 0700075 ¥2,860(税抜¥2,600)  
台所リモコン・サブリモコン・ふる自動スイッチ付サブリモコン  
リモコンコードM(2心) 8A 0700166 ¥2,860(税抜¥2,600)

記載以外の入力替えリモコンは P.22 をご覧ください。

New



ふる給湯器 | 設置フリー形

フレキシブル | スタンダード | シンプル

### 24号給湯タイプ 屋外壁掛形 PRO-TECメカ (水量サーボ) 側面近接10mm

#### GT-2470SAW BL

希望小売価格  
¥406,450(税抜¥369,500)

給湯	TG	50.5kW(43,400kcal/h)
	LPG	50.5kW(3.61kg/h)
ふる	TG	12.8kW(11,000kcal/h)
	LPG	12.8kW(0.91kg/h)
同時	TG	64.0kW(55,000kcal/h)
	LPG	64.0kW(4.57kg/h)

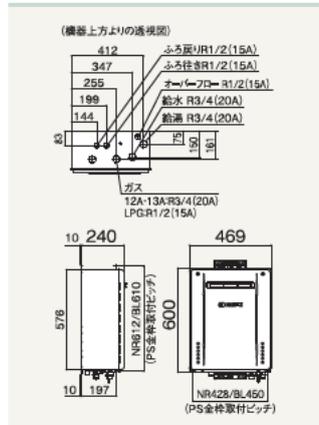
(TGは13Aの値です。12Aは若干小さくなります。)

必要別売部材  
RC-K001Eマルチセット ¥61,930(税抜¥56,300)  
マルチリモコンセット価格  
¥468,380(税抜¥425,800)

循環アダプター-JX-F	0709084	¥9,570(税抜¥8,700)
リモコンコードS(2心) 8A	0700075	¥2,860(税抜¥2,600)
リモコンコードM(2心) 8A	0700166	¥2,860(税抜¥2,600)

排気カバー-C123	0708354	¥7,150(税抜¥6,500)
アルコープ排気カバー-L40	0708355	¥11,330(税抜¥10,300)
配管カバー-H68-K-450-W	0708188	¥6,930(税抜¥6,300)
設置台D66-450-W	0708360	¥16,610(税抜¥15,100)
設置用架台KD-13H-W	0708363	¥24,750(税抜¥22,500)

給水・給湯接続	ガス種	品コード
R3/4(20A)	LPG	0292C01
R3/4(20A)	12A・13A	0292C07



### 20号給湯タイプ 屋外壁掛形 PRO-TECメカ (水量サーボ) 側面近接10mm

#### GT-2070SAW BL

希望小売価格  
¥377,740(税抜¥343,400)

給湯	TG	42.1kW(36,200kcal/h)
	LPG	42.1kW(3.01kg/h)
ふる	TG	12.8kW(11,000kcal/h)
	LPG	12.8kW(0.91kg/h)
同時	TG	54.8kW(47,100kcal/h)
	LPG	54.8kW(3.91kg/h)

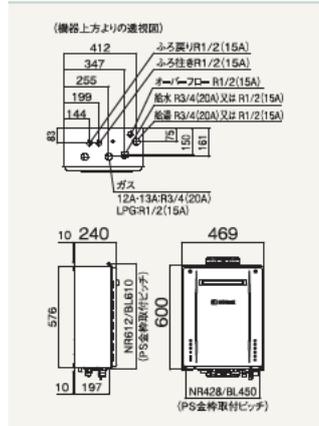
(TGは13Aの値です。12Aは若干小さくなります。)

必要別売部材  
RC-K001Eマルチセット ¥61,930(税抜¥56,300)  
マルチリモコンセット価格  
¥439,670(税抜¥399,700)

循環アダプター-JX-F	0709084	¥9,570(税抜¥8,700)
リモコンコードS(2心) 8A	0700075	¥2,860(税抜¥2,600)
リモコンコードM(2心) 8A	0700166	¥2,860(税抜¥2,600)

排気カバー-C123	0708354	¥7,150(税抜¥6,500)
アルコープ排気カバー-L40	0708355	¥11,330(税抜¥10,300)
配管カバー-H68-K-450-W	0708188	¥6,930(税抜¥6,300)
設置台D66-450-W	0708360	¥16,610(税抜¥15,100)
設置用架台KD-13H-W	0708363	¥24,750(税抜¥22,500)

給水・給湯接続	ガス種	品コード
R3/4(20A)	LPG	0294A01
R3/4(20A)	12A・13A	0294A07
R1/2(15A)	LPG	0294A11
R1/2(15A)	12A・13A	0294A17



### 16号給湯タイプ 屋外壁掛形 PRO-TECメカ (水量サーボ) 側面近接10mm

#### GT-1670SAW BL

希望小売価格  
¥341,110(税抜¥310,100)

給湯	TG	33.6kW(28,900kcal/h)
	LPG	33.6kW(2.40kg/h)
ふる	TG	12.8kW(11,000kcal/h)
	LPG	12.8kW(0.91kg/h)
同時	TG	43.7kW(37,600kcal/h)
	LPG	43.7kW(3.12kg/h)

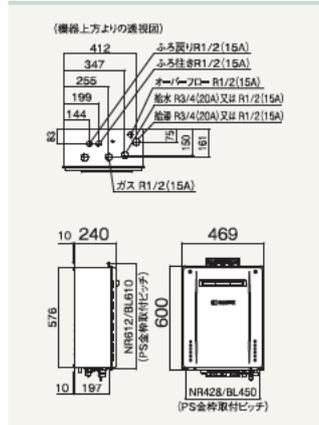
(TGは13Aの値です。12Aは若干小さくなります。)

必要別売部材  
RC-K001Eマルチセット ¥61,930(税抜¥56,300)  
マルチリモコンセット価格  
¥403,040(税抜¥366,400)

循環アダプター-JX-F	0709084	¥9,570(税抜¥8,700)
リモコンコードS(2心) 8A	0700075	¥2,860(税抜¥2,600)
リモコンコードM(2心) 8A	0700166	¥2,860(税抜¥2,600)

排気カバー-C123	0708354	¥7,150(税抜¥6,500)
アルコープ排気カバー-L40	0708355	¥11,330(税抜¥10,300)
配管カバー-H68-K-450-W	0708188	¥6,930(税抜¥6,300)
設置台D66-450-W	0708360	¥16,610(税抜¥15,100)
設置用架台KD-13H-W	0708363	¥24,750(税抜¥22,500)

給水・給湯接続	ガス種	品コード
R3/4(20A)	LPG	020D401
R3/4(20A)	12A・13A	020D407
R1/2(15A)	LPG	020D411
R1/2(15A)	12A・13A	020D417



部材など詳しくは P.199 をご覧ください。



部位の熱貫流率 (U値) 計算シート Ver.2.30

memo

部位:

屋根

仕様:

屋根①  
工法の種類:  
たる木間に断熱

部位と工法の組合せ: OK  
断面の厚さ: OK

熱貫流率U  
[W/(m<sup>2</sup>·K)]  
(四捨五入)

0.216

1

分類	材料	厚さ※ [mm]	面積比率→ 熱伝導率λ [W/(m·K)]	断熱部(一般部)		断熱部+熱橋部		熱橋部	
				熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]					
外気側の表面熱抵抗	Ro(通気層:0.09)			○	0.09			○	0.09
グラスウール断熱材	グラスウール断熱材 高性能品 HG24-36	210.0	0.036	○	5.833			×	0.000
木質系壁材・下地材	天然木材	210.0	0.120	×	0.000			○	1.750
室内側の表面熱抵抗	Ri			○	0.09			○	0.09
断面の厚さ [mm]					210.0				210.0
熱抵抗の合計 ΣR [m <sup>2</sup> ·K/W]					6.013				1.930
各断面の熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]					0.166				0.518
熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]					0.2156				

※厚さの単位はmmです

○:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用する材料

×:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用しない材料

部位:

天井

仕様:

天井①  
工法の種類:  
天井に断熱材を敷込む又は吹込む

部位と工法の組合せ: OK  
断面の厚さ: OK

熱貫流率U  
[W/(m<sup>2</sup>·K)]  
(四捨五入)

0.232

2

分類	材料	厚さ※ [mm]	面積比率→ 熱伝導率λ [W/(m·K)]	断熱部(一般部)		断熱部+熱橋部		熱橋部	
				熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]					
外気側の表面熱抵抗	Ro(小屋裏:0.09)			○	0.09				
グラスウール断熱材	グラスウール断熱材 高性能品 HG14-38	155.0	0.038	○	4.079				
非木質系壁材・下地材	せっこうボード GB-R、GB-D、GB-L、GB-NC	9.5	0.221	○	0.043				
室内側の表面熱抵抗	Ri			○	0.09				
断面の厚さ [mm]					164.5				
熱抵抗の合計 ΣR [m <sup>2</sup> ·K/W]					4.302				
各断面の熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]					0.232				
熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]					0.2325				

※厚さの単位はmmです

○:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用する材料

×:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用しない材料

部位の熱貫流率 (U値) 計算シート Ver.2.30

memo

部位:

外壁

仕様:

外壁①

部位と工法の組合せ: OK

断面の厚さ: OK

熱貫流率U  
[W/(m<sup>2</sup>·K)]  
(四捨五入)

0.486

工法の種類:

柱・間柱間に断熱

3

分類	材料	厚さ※ [mm]	面積比率→ 熱伝導率λ [W/(m·K)]	断熱部(一般部)		断熱部+熱橋部		熱橋部	
				熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]		
外気側の表面熱抵抗	Ro(通気層:0.11)			○	0.11			○	0.11
木質系壁材・下地材	合板	9.0	0.160	○	0.056			○	0.056
グラスウール断熱材	グラスウール断熱材 高性能品 HG14-38	85.0	0.038	○	2.237			×	0.000
非木質系壁材・下地材	せっこうボード GB-R、GB-D、GB-L、GB-NC	12.5	0.221	○	0.057			○	0.057
木質系壁材・下地材	天然木材	85.0	0.120	×	0.000			○	0.708
室内側の表面熱抵抗	Ri			○	0.11			○	0.11
断面の厚さ [mm]					106.5				106.5
熱抵抗の合計 ΣR [m <sup>2</sup> ·K/W]					2.570				1.041
各断面の熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]					0.389				0.960
熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]					0.4863				

※厚さの単位はmmです

○:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用する材料

×:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用しない材料

部位:

その他の床

仕様:

その他の床①

部位と工法の組合せ: OK

断面の厚さ: OK

熱貫流率U  
[W/(m<sup>2</sup>·K)]  
(四捨五入)

0.435

工法の種類:

束立大引工法:大引間に断熱

4

分類	材料	厚さ※ [mm]	面積比率→ 熱伝導率λ [W/(m·K)]	断熱部(一般部)		断熱部+熱橋部		熱橋部	
				熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]		
外気側の表面熱抵抗	Ro(床下:0.15)			○	0.15			○	0.15
グラスウール断熱材	グラスウール断熱材 高性能品 HG24-36	80.0	0.036	○	2.222			×	0.000
木質系壁材・下地材	合板	24.0	0.160	○	0.150			○	0.150
木質系壁材・下地材	合板	12.0	0.160	○	0.075			○	0.075
木質系壁材・下地材	天然木材	80.0	0.120	×	0.000			○	0.667
室内側の表面熱抵抗	Ri			○	0.15			○	0.15
断面の厚さ [mm]					116.0				116.0
熱抵抗の合計 ΣR [m <sup>2</sup> ·K/W]					2.747				1.192
各断面の熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]					0.364				0.839
熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]					0.4353				

※厚さの単位はmmです

○:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用する材料

×:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用しない材料

部位の熱貫流率 (U値) 計算シート Ver.2.30

memo

部位:

外気に接する床

仕様:

床\_外気①

部位と工法の組合せ: OK

断面の厚さ: OK

熱貫流率U  
[W/(m<sup>2</sup>·K)]  
(四捨五入)

0.355

工法の種類:

床梁工法: 根太間に断熱

5

分類	材料	厚さ※ [mm]	面積比率→ 熱伝導率λ [W/(m·K)]	断熱部(一般部)		断熱部+熱橋部		熱橋部	
				熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]
外気側の表面熱抵抗	Ro(外気:0.04)			○	0.04			○	0.04
グラスウール断熱材	グラスウール断熱材 高性能品 HG24-36	120.0	0.036	○	3.333			×	0.000
木質系壁材・下地材	天然木材	120.0	0.120	×	0.000			○	1.000
木質系壁材・下地材	合板	24.0	0.160	○	0.150			○	0.150
木質系壁材・下地材	合板	12.0	0.160	○	0.075			○	0.075
室内側の表面熱抵抗	Ri			○	0.15			○	0.15
断面の厚さ [mm]					156.0				156.0
熱抵抗の合計 ΣR [m <sup>2</sup> ·K/W]					3.748				1.415
各断面の熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]					0.267				0.707
熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]					0.3548				

※厚さの単位はmmです

○:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用する材料

×:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用しない材料

部位:

基礎壁

仕様:

基礎壁①

部位と工法の組合せ: OK

断面の厚さ: OK

熱貫流率U  
[W/(m<sup>2</sup>·K)]  
(四捨五入)

0.523

工法の種類:

RC(内断熱・外断熱・内外断熱共通)

6

分類	材料	厚さ※ [mm]	面積比率→ 熱伝導率λ [W/(m·K)]	断熱部(一般部)		断熱部+熱橋部		熱橋部	
				熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]
外気側の表面熱抵抗	Ro(外気:0.04)			○	0.04				
コンクリート系材料	コンクリート	150.0	1.600	○	0.094				
ポリスチレンフォーム断熱材	押出法ポリスチレンフォーム断熱材 1種 b C	60.0	0.036	○	1.667				
室内側の表面熱抵抗	Ri			○	0.11				
断面の厚さ [mm]					210.0				
熱抵抗の合計 ΣR [m <sup>2</sup> ·K/W]					1.910				
各断面の熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]					0.523				
熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]					0.5234				

※厚さの単位はmmです

○:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用する材料

×:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用しない材料

部位の熱貫流率 (U値) 計算シート Ver.2.30

memo

部位:

基礎壁

仕様:

基礎壁②

部位と工法の組合せ: OK

断面の厚さ: OK

熱貫流率U  
[W/(m<sup>2</sup>·K)]  
(四捨五入)

1.150

工法の種類:

RC(内断熱・外断熱・内外断熱共通)

7

分類	材料	厚さ※ [mm]	面積比率→ 熱伝導率λ [W/(m·K)]	断熱部(一般部)		断熱部+熱橋部		熱橋部	
				熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]
外気側の表面熱抵抗	Ro(通気層:0.11)			○	0.11				
コンクリート系材料	コンクリート	150.0	1.600	○	0.094				
ポリスチレンフォーム断熱材	押出法ポリスチレンフォーム断熱材 1種 b C	20.0	0.036	○	0.556				
室内側の表面熱抵抗	Ri			○	0.11				
断面の厚さ [mm]					170.0				
熱抵抗の合計 ΣR [m <sup>2</sup> ·K/W]					0.869				
各断面の熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]					1.150				
熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]						1.1503			

※厚さの単位はmmです

○:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用する材料

×:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用しない材料

部位:

仕様:

部位と工法の組合せ: **部位と工法の種類を正しく選択してください**

断面の厚さ:

#N/A

熱貫流率U  
[W/(m<sup>2</sup>·K)]  
(四捨五入)

#N/A

工法の種類:

8

分類	材料	厚さ※ [mm]	面積比率→ 熱伝導率λ [W/(m·K)]	断熱部(一般部)		断熱部+熱橋部		熱橋部	
				熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	熱抵抗R [m <sup>2</sup> ·K/W]	熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]
外気側の表面熱抵抗				○	#N/A	○	#N/A	○	#N/A
室内側の表面熱抵抗	Ri			○	#N/A	○	#N/A	○	#N/A
断面の厚さ [mm]					0.0		0.0		0.0
熱抵抗の合計 ΣR [m <sup>2</sup> ·K/W]					#N/A		#N/A		#N/A
各断面の熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]					#N/A		#N/A		#N/A
熱貫流率U [W/(m <sup>2</sup> ·K)]						#N/A			

※厚さの単位はmmです

○:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用する材料

×:断熱部、及び熱橋部において、計算に使用しない材料

## 住宅の外皮平均熱貫流率及び平均日射熱取得率（冷房期・暖房期）計算書

- H28年省エネルギー基準に基づく（木造戸建て住宅） -

## 1) 基本情報の入力

住宅の名称	和光市南1丁目 新築工事		
住宅の所在地	埼玉県和光市南1丁目2398番8,14	(地域区分)	6地域
住宅の規模	地上	3階	、地下 階

## 2) 計算結果

外皮等面積の合計( $\Sigma A$ )	274.08 m <sup>2</sup>	冷房期の平均日射熱取得率( $\eta_{AC}$ )	1.9
外皮平均熱貫流率( $U_A$ )	0.8 W/(m <sup>2</sup> K)	暖房期の平均日射熱取得率( $\eta_{AH}$ )	1.5

## 3) 省エネルギー基準外皮性能適合可否結果

	計算結果	基準値	判定
外皮平均熱貫流率( $U_A$ )	0.8 W/(m <sup>2</sup> K)	0.87 W/(m <sup>2</sup> K)	適合
冷房期の平均日射熱取得率( $\eta_{AC}$ )	1.9	2.8	適合

<input type="radio"/>	等級7
<input type="radio"/>	等級6
<input type="radio"/>	等級5
<input checked="" type="radio"/>	等級4
<input type="radio"/>	等級3
<input type="radio"/>	等級2

注1:本計算シートの計算方法は、(国研)建築研究所が示す外皮性能の計算方法を原則遵守しています。

注2:内訳計算シートAは、住宅の外壁の面する方位別のシートに入力してください。

注3:各シートの **黄色** 部分に入力するか、あるいはドロップボックスから選択してください。

注4:各シートに入力する寸法は、メートル単位で入力して下さい。

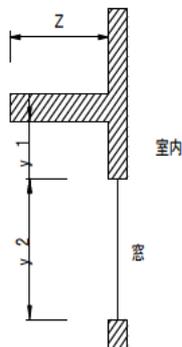
注5:本計算シートでは計算式の誤削除を防止するため、シートを保護しています。

※1 建具の仕様、ガラスの仕様および付属部材の組み合わせに応じた日射熱取得率を直接入力して下さい。

内訳計算シートA <北東面> の外皮熱損失量と日射熱取得量

1) 窓の入力

窓番号	寸法[m]		熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	日射熱取得率 ※1	付属部材の有無	取得日射量補正係数の算出			冷房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	暖房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	熱損失 [W/K]	
	幅	高さ				底による補正計算[m]						
						Z	y1	y2				
	1.5	0.9	4.07	0.32	シャッター	<input checked="" type="checkbox"/>				0.17	0.07	4.70
	0.69	0.7	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.06	0.03	1.97
	0.69	0.7	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.06	0.03	1.97
	1.65	1.3	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.28	0.11	8.73
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
窓 <北東面> 各値合計										0.57	0.24	17.36



日除け寸法の取り方

2) ドアの入力

ドア番号	寸法[m]		熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	付属部材の有無	冷房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	暖房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	熱損失 [W/K]
	幅	高さ					
ドア	0.92	2.33	2.53		0.08	0.06	5.66
ドア <北東面> 各値合計							
					0.08	0.06	5.66

3) 外壁の入力

仕様番号	外壁面積 [m <sup>2</sup> ]	除外窓等面積 [m <sup>2</sup> ]	計算対象外壁面積 [m <sup>2</sup> ]	熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	冷房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	暖房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	熱損失 [W/K]
	45.504	6.604	38.90	0.462	0.26	0.20	17.97
外壁 <北東面> 各値合計							
					0.26	0.20	17.97

※基礎壁は、内訳計算シートC<基礎壁、基礎等>に入力してください。

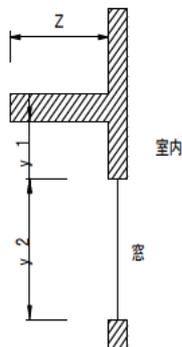
4) 住宅 <北東面> 計算結果

北東面	外皮等面積(内訳)	45.50 m <sup>2</sup> (窓 4.461 m <sup>2</sup> 、ドア 2.1436 m <sup>2</sup> 、外壁 38.9 m <sup>2</sup> )
	冷房期総日射熱取得量	0.92 [W/(W/m <sup>2</sup> )]
	暖房期総日射熱取得量	0.50 [W/(W/m <sup>2</sup> )]
	総熱損失	40.99 W/K

内訳計算シートA <南東面> の外皮熱損失量と日射熱取得量

1) 窓の入力

窓番号	寸法[m]		熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	日射熱取得率 ※1	付属部材の有無	取得日射量補正係数の算出			冷房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	暖房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	熱損失 [W/K]	
	幅	高さ				底による補正計算[m]						
						Z	y1	y2				
	1.65	0.9	4.07	0.32	シャッター	<input checked="" type="checkbox"/>				0.22	0.20	5.17
	0.26	0.9	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.03	0.03	0.95
	0.36	0.9	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.05	0.04	1.32
	0.26	0.9	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.03	0.03	0.95
	0.26	0.9	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.03	0.03	0.95
	0.26	0.9	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.03	0.03	0.95
	1.65	0.23	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.06	0.05	1.54
	0.64	1.8	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.17	0.16	4.69
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
窓 <南東面> 各値合計									0.63	0.58	16.53	



日除け寸法の取り方

2) ドアの入力

ドア番号	寸法[m]		熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	付属部材の有無	冷房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	暖房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	熱損失 [W/K]
	幅	高さ					
物置ドア	0.64	1.9	2.8		0.06	0.10	3.40
ドア <南東面> 各値合計					0.06	0.10	3.40

3) 外壁の入力

仕様番号	外壁面積 [m <sup>2</sup> ]	除外窓等面積 [m <sup>2</sup> ]	計算対象外壁面積 [m <sup>2</sup> ]	熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	冷房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	暖房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	熱損失 [W/K]
	53.92	4.276	48.43	0.462	0.38	0.63	22.37
外壁 <南東面> 各値合計					0.38	0.63	22.37

※基礎壁は、内訳計算シートC<基礎壁、基礎等>に入力してください。

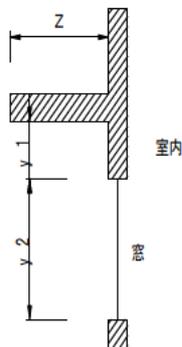
4) 住宅 <南東面> 計算結果

南東面	外皮等面積(内訳)	53.92 m <sup>2</sup> (窓 4.2765 m <sup>2</sup> 、ドア 1.216 m <sup>2</sup> 、外壁 48.427 m <sup>2</sup> )
	冷房期総日射熱取得量	1.07 [W/(W/m <sup>2</sup> )]
	暖房期総日射熱取得量	1.31 [W/(W/m <sup>2</sup> )]
	総熱損失	42.31 W/K

内訳計算シートA <南西面> の外皮熱損失量と日射熱取得量

1) 窓の入力

窓番号	寸法[m]		熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	日射熱取得率 ※1	付属部材の有無	取得日射量補正係数の算出			冷房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	暖房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	熱損失 [W/K]	
	幅	高さ				デフォルト値使用	庇による補正計算[m]					
							Z	y1				y2
	1.5	2	4.07	0.32	シャッター	<input checked="" type="checkbox"/>				0.44	0.37	10.44
	1.5	1.8	4.07	0.32	シャッター	<input checked="" type="checkbox"/>				0.39	0.34	9.40
	1.19	0.9	4.07	0.32	シャッター	<input checked="" type="checkbox"/>				0.16	0.13	3.73
	1.65	1.8	4.07	0.32	シャッター	<input checked="" type="checkbox"/>				0.43	0.37	10.34
	1.19	0.9	4.07	0.32	シャッター	<input checked="" type="checkbox"/>				0.16	0.13	3.73
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
窓 <南西面> 各値合計										1.58	1.35	37.64



日除け寸法の取り方

2) ドアの入力

ドア番号	寸法[m]		熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	付属部材の有無	冷房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	暖房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	熱損失 [W/K]	
	幅	高さ						
ドア <南西面> 各値合計						0.00	0.00	0.00

3) 外壁の入力

仕様番号	外壁面積 [m <sup>2</sup> ]	除外窓等面積 [m <sup>2</sup> ]	計算対象外壁面積 [m <sup>2</sup> ]	熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	冷房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	暖房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	熱損失 [W/K]	
	45.504	10.812	34.69	0.462	0.27	0.42	16.03	
外壁 <南西面> 各値合計						0.27	0.42	16.03

※基礎壁は、内訳計算シートC<基礎壁、基礎等>に入力してください。

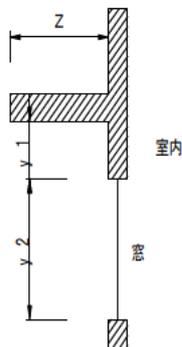
4) 住宅 <南西面> 計算結果

南西面	外皮等面積(内訳)	45.50 m <sup>2</sup> (窓 10.812 m <sup>2</sup> 、ドア 0 m <sup>2</sup> 、外壁 34.692 m <sup>2</sup> )
	冷房期総日射熱取得量	1.85 [W/(W/m <sup>2</sup> )]
	暖房期総日射熱取得量	1.76 [W/(W/m <sup>2</sup> )]
	総熱損失	53.67 W/K

内訳計算シートA <北西面> の外皮熱損失量と日射熱取得量

1) 窓の入力

窓番号	寸法[m]		熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	日射熱取得率 ※1	付属部材の有無	取得日射量補正係数の算出			冷房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	暖房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	熱損失 [W/K]	
	幅	高さ				デフォルト値使用	庇による補正計算[m]					
							Z	y1				y2
	0.6	0.7	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.05	0.02	1.71
	0.6	0.7	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.05	0.02	1.71
	0.6	0.7	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.05	0.02	1.71
	0.21	0.9	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.02	0.01	0.77
	1.19	0.9	4.07	0.32	シャッター	<input checked="" type="checkbox"/>				0.14	0.06	3.73
	0.21	0.9	4.07	0.32		<input checked="" type="checkbox"/>				0.02	0.01	0.77
	1.19	0.9	4.07	0.32	シャッター	<input checked="" type="checkbox"/>				0.14	0.06	3.73
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
						<input type="checkbox"/>						
窓 <北西面> 各値合計									0.48	0.20	14.12	



日除け寸法の取り方

2) ドアの入力

ドア番号	寸法[m]		熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	付属部材の有無	冷房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	暖房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	熱損失 [W/K]
	幅	高さ					
ドア <北西面> 各値合計					0.00	0.00	0.00

3) 外壁の入力

仕様番号	外壁面積 [m <sup>2</sup> ]	除外窓等面積 [m <sup>2</sup> ]	計算対象外壁面積 [m <sup>2</sup> ]	熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	冷房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	暖房期日射熱取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	熱損失 [W/K]
	53.918	3.78	50.14	0.462	0.34	0.25	23.16
外壁 <北西面> 各値合計					0.34	0.25	23.16

※基礎壁は、内訳計算シートC<基礎壁、基礎等>に入力してください。

4) 住宅 <北西面> 計算結果

北西面	外皮等面積(内訳)	53.92 m <sup>2</sup> (窓 3.78 m <sup>2</sup> 、ドア 0 m <sup>2</sup> 、外壁 50.138 m <sup>2</sup> )
	冷房期総日射熱取得量	0.82 [W/(W/m <sup>2</sup> )]
	暖房期総日射熱取得量	0.45 [W/(W/m <sup>2</sup> )]
	総熱損失	37.29 W/K

内訳計算シートB <屋根・天井・床等> の外皮熱損失量と日射熱取得量

1) 天窓等の入力

窓番号	寸法[m]		熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	日射熱 取得率 ※1	付属部材 の有無	冷房期 日射熱 取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	暖房期 日射熱 取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	熱損失 [W/K]
	幅	高さ						
窓 <屋根・天井> 各値合計						0.00	0.00	0.00

2) 屋根・天井・外気等に接する床（以下「屋根等」という。）の入力

仕様番号	部位 名称	屋根等 面積 [m <sup>2</sup> ]	除外窓 等面積 [m <sup>2</sup> ]	計算対象 外皮面積 [m <sup>2</sup> ]	熱貫流 率 [W/(m <sup>2</sup> ·K)]	温度差 係数 *	冷房期 日射熱 取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	暖房期 日射熱 取得量 [W/(W/m <sup>2</sup> )]	熱損失 [W/K]
	天井	4.15		4.15	0.216	1.0	0.03	0.03	0.90
	天井	30.48		30.48	0.232	1.0	0.24	0.24	7.07
	その他床	24.06		24.06	0.435	0.7	0.00	0.00	7.33
	外気床	4.14		4.14	0.355	1.0	0.00	0.00	1.47
外壁 <屋根・天井・床> 各値合計							0.27	0.27	16.76

※外気または外気に通じる空間（小屋裏・天井裏等）は1.0、外気に通じる床下は0.7を入力してください。

3) 住宅 <屋根・天井・床等> 計算結果

屋根 等 他	外皮等面積(内訳)	62.83 m <sup>2</sup> (天窓 0 m <sup>2</sup> 、屋根等 62.83 m <sup>2</sup> )
	冷房期総日射熱取得量	0.27 [W/(W/m <sup>2</sup> )]
	暖房期総日射熱取得量	0.27 [W/(W/m <sup>2</sup> )]
	総熱損失	16.76 W/K

## 内訳計算シートC &lt;基礎壁、基礎等&gt; の熱損失量（基礎断熱及び土間床等の部分）

はじめにどちらかをご選択ください→

<input type="radio"/>	新計算法	<input checked="" type="radio"/>	旧計算法
-----------------------	------	----------------------------------	------

## 1) 土間床等の面積の入力

部位番号	部位名	面積 [㎡]
	玄関土間	3.12
	玄関土間	
	その他	3.31
	その他	
土間床等面積合計		6.43

※3)において温度差係数を分けて計算する場合、上表は分けて入力して下さい。その際、面積は重複しないように片方のみを入力して

## 2) 土間等の外周長さとし線熱貫流率の入力

部位番号	部位名	土間床等の 外周長L[m]	線熱貫流率 [W/(m・K)]	日射の当た らない基礎 等	熱損失 [W/K]
	玄関土間	5.45	1.57	<input type="checkbox"/>	8.56
	玄関土間	4.34	1.57	<input checked="" type="checkbox"/>	4.77
	その他	3.64	1.57	<input type="checkbox"/>	5.71
	その他	3.64	1.57	<input checked="" type="checkbox"/>	4.00
				<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	
土間等熱損失合計		17.07	-	-	23.04

## 3) 基礎壁等の入力

仕様番号	方位	面積 [㎡]	熱貫流率 [W/(㎡・K)]	日射の当た らない基礎 等	冷房期日射 熱取得量 [W/(W/㎡)]	暖房期日射 熱取得量 [W/(W/㎡)]	熱損失 [W/K]
	北西	0.952	0.523	<input type="checkbox"/>	0.01	0.01	0.50
	北西	0.441	1.15	<input checked="" type="checkbox"/>	0.00	0.00	0.36
	南西	0.637	0.523	<input type="checkbox"/>	0.01	0.01	0.33
	南西	0.956	1.15	<input checked="" type="checkbox"/>	0.00	0.00	0.77
	南東	0.637	0.523	<input type="checkbox"/>	0.01	0.01	0.33
	南東	0.76	1.15	<input checked="" type="checkbox"/>	0.00	0.00	0.61
	北東	0.956	0.523	<input type="checkbox"/>	0.01	0.01	0.50
	北東	0.637	1.15	<input checked="" type="checkbox"/>	0.00	0.00	0.51
				<input type="checkbox"/>			
				<input type="checkbox"/>			
基礎壁合計		5.98	-	-	0.03	0.03	3.91

一次エネルギー消費量計算結果(住宅版)

1. 住宅タイプの設計 次エネルギー消費量等

(1)住宅タイプの名称(建て方)	南一丁目 (戸建住宅)			
(2)床面積	主たる居室	その他の居室	非居室	合計
	27.86㎡	34.62㎡	30.91㎡	93.39㎡
(3)地域の区分/年間の日射地域区分	6地域			*****
(4)一次エネルギー消費量(1戸当り)			設計一次 MJ]	基準一次 MJ]
	暖房設備		16962	13945
	冷房設備		4007	5023
	換気設備		3565	3528
	給湯設備		24889	22616
	照明設備		3764	8954
	その他の設備		19973	19973
	発電設備の発電量のうち自家消費分	太陽光発電(PV)	--	--
		コージェネレーション設備(CGS)	--	--
	コージェネレーション設備の売電量に係る控除量*1		--	--
(5)合計	PVおよびCGSを対象とする場合		73161	74039
	CGSを対象とする場合		73161	

本計算結果は、当該住戸が建設される地域区分及び設計内容に一定の生活スケジュールに基づく設備機器の運転条件等を想定し計算されたもので、実際の運用に伴うエネルギー消費量とは異なります。

(4)の各用途内訳を足した値と合計は四捨五入の関係で一致しないことがあります。

\* :コージェネレーション設備が発電した電力を発電するために要した一次エネルギー消費量相当量です。

2. 判定

適用する基準			一次エネルギー消費量 GJ/(戸・年)]		判定結果
			設計一次エネルギー	基準一次エネルギー	
建築物省エネ法	建築物エネルギー消費性能基準	H28年4月以降	73.2	74.1	達成
		H28年4月現存		79.5	達成
	建築物エネルギー消費性能誘導基準	R04年10月以降	73.2	63.3	非達成
		R04年10月現存		74.1	達成
エコまち法	エネルギーの使用の合理化の一層の促進のために誘導すべき基準	R04年10月以降	73.2	63.3	非達成
		R04年10月現存		68.7	非達成
	低炭素化の促進のために誘導すべきその他の基準		73.2	47.1	非達成

一次エネルギー消費量の値は小数点以下一位未満の端数を切り上げているため「1 住宅タイプの設計一次エネルギー消費量等」の(4)の合計と一致しないことがあります。

3. BEI

適用する基準			一次エネルギー消費量(その他除く) GJ/(戸・年)]		BEI
			設計一次エネルギー	基準一次エネルギー	
建築物省エネ法	建築物エネルギー消費性能基準	53.2	54.1	0.99	
	建築物エネルギー消費性能誘導基準	53.2		0.99	
エコまち法	エネルギーの使用の合理化の一層の促進のために誘導すべき基準	53.2		0.99	

BEI 計算時の一次エネルギー消費量はその他のエネルギー消費量除きます。建築物エネルギー消費量性能誘導基準には Vによる削減効果を除外して評価します。

QRコードは 動処理のために用います。



#### 4. 住宅タイプの仕様

##### (1) 暖冷房仕様

外皮／設備項目		外皮／設備の仕様
A.外皮	外皮性能の評価方法	当該住戸の外皮面積を用いて外皮性能を評価する
	外皮面積の合計	274.08 m <sup>2</sup>
	外皮平均熱貫流率	0.8 W/m <sup>2</sup> K
	平均日射熱取得率	暖房期の平均日射熱取得率(ηAH): 1.5 冷房期の平均日射熱取得率(ηAC): 1.9
	通風の利用	主たる居室:評価しない、または利用しない その他の居室:評価しない、または利用しない
	蓄熱の利用	評価しない、または利用しない
	床下空間を経由して外気を導入する換気方式の利用	評価しない、または利用しない
B.暖房設備	暖房方式	居室のみを暖房する
	設備仕様	【主たる居室】その他の暖房設備機器 名称:電気ヒタ床暖房 【その他の居室】暖房設備機器または放熱器を設置しない
C.冷房設備	冷房方式	設置しない
	設備仕様	

##### (2) 換気仕様

設備項目	設備の仕様
D.換気	壁付け式第二種換気設備、または壁付け式第三種換気設備 換気回数:0.5回/h
E.熱交換	評価しない、または設置しない

##### (3) 給湯仕様

設備項目		設備の仕様
F.給湯設備	給湯設備・浴室等の有無	給湯設備がある(浴室等がある)
	熱源機	熱源機の種類: ガス従来型給湯機 効率: 評価しない ふろ機能の種類: ふろ給湯機(追焚あり)
	配管	評価しない、または先分岐方式
	水栓	台所: 評価しない、または2バルブ水栓 浴室シャワ : 評価しない、または2バルブ水栓 洗面: 評価しない、または2バルブ水栓
	浴槽	評価しない、または高断熱浴槽を使用しない

## (4) 照明仕様

設備項目		設備の仕様
G.照明設備	主たる居室	設置しない
	その他の居室	設置しない
	非居室	すべての機器においてLEDを使用している 人感センサ : 評価しない、または採用しない

## (5) 発電仕様

設備項目		設備の仕様
H.太陽光 発電設備	方位の異なるパネルの面数	評価しない、または設置しない
	その1	*****
	その2	*****
	その3	*****
	その4	*****
	パワコン	*****
I.コ ジェネレ ションシステム		なし

## (6) 太陽熱利用設備仕様

設備項目		設備の仕様
J.液体集熱式太陽熱利用給湯		評価しない、または設置しない
K.空気集熱 式太陽熱利 用設備	設備仕様	評価しない、または設置しない
	集熱器群の数・方位	*****
	集熱器群1	*****
	集熱器群2	*****
	集熱器群3	*****
	集熱器群4	*****

## 5. 参考値

### (1) 設計二次エネルギー消費量等(参考値)

設計二次エネルギー消費量			コージェネレーション設備 の売電量に係るガス消費量 の控除量 MJ] *2	未処理負荷の 設計一次エネルギー 消費量相当値 MJ] *3
消費電力量 kWh] *1	ガス消費量 MJ]	灯油消費量 MJ]		
4603	27709	0	0	530

\* :当該住戸で消費する電力量から 太陽光発電設備およびコージェネレーション設備による消費電力削減量(発電量のうち 当該住戸で消費される自家消費分)を差し引いた値を表記しています。

\*2:コージェネレーション設備が売電した電力を発電するために要したガス消費量相当量です。

\*3:未処理負荷とは 当該住戸に設置された暖冷房設備機器で処理できなかった負荷を指し 負荷を処理した暖冷房設備機器とは別の 何らかの暖冷房設備で処理したと仮定して 設計一次エネルギー消費量相当値に換算しています。

### (2) 発電量・売電量(参考値) \*1

発電量 MJ]		売電量 MJ]	
コージェネレーション	太陽光発電	コージェネレーション	太陽光発電
--	--	--	--

\* :すべて一次エネルギーに換算した値